

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	17-3
PDCA	主要事業名	長寿訪問等事業	部課名	福祉部高齢介護課	担当	茶谷
					内線	371
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 2 単位施策： 高齢者福祉 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 1,320 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.01.02.11.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用
	事業概要等	多年にわたり社会に貢献した高齢者に祝金を支給することにより、感謝の意を表すととも 事業概要： にその長寿を祝う。 また、結婚生活50年、60年、70年を過ごされた夫婦に対して、祝品を贈呈する。				
		事業目的： 高齢者に対して感謝の意を表し、長寿を祝福する。				
		事業内容： 満100歳及び最高齢者（男女各1名）に祝金1万円を贈呈する。また、結婚周年該当夫婦に祝品を贈呈する。				
		問題点・課題等： 昨今の長寿化により、対象者数は増加傾向にあるため、それに伴い事業費も増加している。				
	予算額	主要事業とする理由				
	1,320 千円	多年にわたり社会に貢献した高齢者に敬意を表し、長年支えあってきた夫婦を祝福することは、市民に対する敬老意識の醸成という観点からも、市が行う重要な事業であるため。				
	財源内訳	得られる成果				
	市費 1,320 千円	長年にわたり社会の進展に貢献してきた高齢者等に祝金等を贈り、感謝とお祝いの意を表します。				
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態				
県費 0 千円	高齢者の長寿を祝福できる状態					
その他 0 千円						
D 実績 値 ら れ た 成 果 と	決算額	得られた成果				
	742 千円	該当の高齢者に感謝の意を表し長寿を祝福することで、市民の敬老意識が高まり、該当者もこれまで以上に生きがいを感じ、更なる長寿の励みとなった。				
		成果指標 高齢者の長寿を祝福できる状態				
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 平均寿命の延伸から長寿祝金について対象者を見直し、数え88歳（米寿）への祝金を廃止したが、敬老の日に合わせて市長等が高齢者宅を訪問し、長寿を祝福する気持ちを直接伝えることができた。また、ブライダル婚・ダイヤモンド婚・金婚を祝う会については、コロナ禍においても安易に式典を中止とせず、感染対策を講じて開催できた。一方で、式典会場での写真撮影の代わりに記念品として写真クーポン券を贈呈し、近所の写真店で記念撮影ができるよう配慮した。				
	今後の事業の方向性	現状維持 今後も高齢者の敬老・長寿を祝う事業として継続していくが、社会情勢等を踏まえながら、事業の実施方法等について検討を重ねていく。				
A 課題の解決に向けた方向性	観点別評価	必要性	有効性	効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 -	⑦コスト削減 余地 ある		
		②市民ニーズ -	⑤成果向上の余地 ない	※対象の変更		
		③休廃止の影響 小さい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 -		
主要施策の成果報告書で活用 評価項目（決算時に作成）						